



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年4月26日

上場会社名 富士変速機株式会社 上場取引所 名
コード番号 6295 URL <https://www.fujihensokuki.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)市原 英孝
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)蓮井 隆之 (TEL)058(271)6521
四半期報告書提出予定日 2024年4月26日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の業績 (2024年1月1日～2024年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,287	△22.7	5	△93.4	12	△85.4	8	△89.1
2023年12月期第1四半期	1,665	△9.0	84	△60.6	88	△59.1	81	△44.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	0.56	—
2023年12月期第1四半期	4.81	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	12,475	10,811	86.7
2023年12月期	12,764	10,770	84.4

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 10,811百万円 2023年12月期 10,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,077	△10.6	60	△71.4	77	△66.0	50	△71.5	3.13
通期	7,420	3.9	520	0.5	550	0.4	400	1.5	25.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	17,955,000株	2023年12月期	17,955,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	2,004,355株	2023年12月期	2,004,355株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	15,950,645株	2023年12月期 1 Q	16,914,756株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善の動きがみられるとともに、円安に伴う外国人観光客の増加等により、景気は緩やかな回復基調となる一方、原材料価格の高止まりや国際情勢悪化の長期化もあり、依然として先行きの不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、差別化戦略に基づく当社の強みや技術を活かした製品開発と生産体制の最適化を行い、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、原価高騰の影響下においても、生産体制の改善等により収益獲得に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業では、くし歯式の強みを活かした営業展開により新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案の推進による受注の獲得と、原価管理に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、収益改善に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,287百万円(前年同期比22.7%減)、営業利益は5百万円(前年同期比93.4%減)、経常利益は12百万円(前年同期比85.4%減)、四半期純利益は8百万円(前年同期比89.1%減)となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[減速機関連事業]

工作機械需要に弱さがみられる中、一部の客先における在庫調整影響もあり、各種減速機の受注が低調に推移したことで、売上高は667百万円(前年同期比30.1%減)となりました。営業損益につきましては、経費節減等に取り組みましたが、原材料価格の高止まりや新規サーボモータ事業の初期費用等により12百万円の損失(前年同期は86百万円の利益)となりました。

[駐車場装置関連事業]

主力製品のパズルタワーの新設工事につきましては、コロナ禍における受注環境の停滞影響等があり、既存納入物件に対する改造改修案件の受注獲得に向け営業展開を進めましたが、売上高は580百万円(前年同期比13.1%減)となりました。営業利益につきましては、原価低減活動や原価管理の徹底に取り組んだことで、25百万円(前年同期は4百万円)となりました。

[室内外装品関連事業]

品質管理の徹底と生産性向上および継続的な原価低減に取り組みましたが、売上高は39百万円(前年同期比5.2%減)、営業損益につきましては7百万円の損失(前年同期は6百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ288百万円減少し12,475百万円となりました。

流動資産は、原材料及び貯蔵品が202百万円、仕掛品が75百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産等が674百万円、現金及び預金が89百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ471百万円減少し8,327百万円となりました。

固定資産は、減価償却等により有形固定資産が19百万円減少した一方で、保有株式の株価上昇等により投資有価証券が114百万円、無形固定資産が100百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ183百万円増加し4,148百万円となりました。

[負債]

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ329百万円減少し1,663百万円となりました。

流動負債は、引当金が38百万円増加した一方で、未払金を含むその他の項目が165百万円、未払法人税等が119百万円、支払手形及び買掛金が96百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ342百万円減少し1,251百万円となりました。

固定負債は、役員退職慰労引当金が3百万円減少した一方で、繰延税金負債を含むその他の項目が12百万円、退職給付引当金が4百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ13百万円増加し411百万円となりました。

[純資産]

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ41百万円増加し10,811百万円となりました。

これは、利益剰余金が38百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が80百万円増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は前事業年度末に比べ2.3ポイント増加し86.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、現時点では2024年2月2日に公表しました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,811,196	4,721,317
受取手形、売掛金及び契約資産等	2,738,322	2,063,481
製品	23,244	39,541
仕掛品	559,519	634,756
未成工事支出金	18,359	26,699
原材料及び貯蔵品	573,505	775,694
その他	83,574	72,217
貸倒引当金	△8,336	△6,310
流動資産合計	8,799,385	8,327,397
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,649,303	2,662,968
減価償却累計額	△2,074,737	△2,089,353
建物（純額）	574,565	573,614
機械及び装置	2,694,656	2,698,364
減価償却累計額	△2,098,954	△2,123,875
機械及び装置（純額）	595,702	574,489
土地	1,605,233	1,605,233
建設仮勘定	546	4,426
その他	1,082,486	1,088,662
減価償却累計額	△980,752	△988,414
その他（純額）	101,734	100,248
有形固定資産合計	2,877,781	2,858,011
無形固定資産	30,358	131,163
投資その他の資産		
投資有価証券	578,462	692,781
その他	478,142	466,467
投資その他の資産合計	1,056,604	1,159,249
固定資産合計	3,964,745	4,148,423
資産合計	12,764,131	12,475,821

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,028,703	932,280
未払法人税等	141,015	21,020
引当金	82,654	121,243
その他	342,464	177,369
流動負債合計	1,594,838	1,251,914
固定負債		
退職給付引当金	337,679	342,124
役員退職慰労引当金	33,160	30,100
その他	27,612	39,684
固定負債合計	398,451	411,909
負債合計	1,993,290	1,663,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,507,500	2,507,500
資本剰余金	3,896,954	3,896,954
利益剰余金	4,696,489	4,657,531
自己株式	△497,956	△497,956
株主資本合計	10,602,987	10,564,029
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	167,852	247,967
評価・換算差額等合計	167,852	247,967
純資産合計	10,770,840	10,811,997
負債純資産合計	12,764,131	12,475,821

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	1,665,107	1,287,863
売上原価	1,355,255	1,064,775
売上総利益	309,852	223,088
販売費及び一般管理費	225,613	217,553
営業利益	84,238	5,535
営業外収益		
受取利息	55	70
保険配当金	2,989	6,064
その他	1,002	1,316
営業外収益合計	4,047	7,451
営業外費用		
減価償却費	84	84
その他	0	0
営業外費用合計	85	85
経常利益	88,200	12,901
特別利益		
受取補償金	33,500	-
特別利益合計	33,500	-
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	121,700	12,901
法人税、住民税及び事業税	50,602	10,224
法人税等調整額	△10,330	△6,216
法人税等合計	40,271	4,007
四半期純利益	81,428	8,893

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	954,644	668,340	42,122	1,665,107	—	1,665,107
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,397	—	—	19,397	△19,397	—
計	974,042	668,340	42,122	1,684,505	△19,397	1,665,107
セグメント利益又は損失(△)	86,475	4,230	△6,467	84,238	—	84,238

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	667,405	580,518	39,940	1,287,863	—	1,287,863
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,979	—	—	13,979	△13,979	—
計	681,384	580,518	39,940	1,301,843	△13,979	1,287,863
セグメント利益又は損失(△)	△12,486	25,332	△7,310	5,535	—	5,535

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(事業の譲受)

当社は、2023年10月27日開催の取締役会において、株式会社東光高岳よりサーボモータ事業を譲受けることを決議し、同日付で事業譲渡契約を締結し、2024年1月1日付で当該事業の事業譲受を行いました。

1. 事業譲受の概要

(1) 譲受先企業の名称及び事業の内容

譲受先企業の名称 株式会社東光高岳

譲受事業の内容 バッテリー駆動のACサーボモータ、及びドライバの設計開発・製造販売

(2) 事業譲受の目的

当社は多様化するメカトロニクスに対応する為、歯車伝導技術を駆使した変速機・減速機や、駆動回転技術に係るシステム製品の設計開発・製造販売を行うことで、産業分野から暮らしの分野においてお客様のニーズに応じております。

特に近年、市場においては生産・物流現場の自動化需要が旺盛であり、当社としても将来的に減速機事業の拡大を目指すには、既存事業とシナジー効果が見込める当該事業の譲受けが有効と考え、本件契約の締結に至りました。

(3) 事業譲受日 2024年1月1日

(4) 事業譲受の法的形式 現金を対価とする事業譲受

2. 四半期累計期間に係る四半期損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

2024年1月1日から2024年3月31日まで

3. 取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	196,906千円
-------	----	-----------

取得原価		196,906千円
------	--	-----------

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

該当事項はありません。

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

7,708千円

(2) 発生原因

主として譲受事業の今後期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

3年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及びその主な内訳

流動資産	86,059千円
------	----------

固定資産	103,138千円
------	-----------

資産合計	189,197千円
------	-----------